

天正寺（曹洞宗）

メモリアルアートの大野屋



TENSHOJI 天正寺

曹洞宗 耕雲山

そうとうしゅう こううんざん

てんしょうじ

天正寺縁起

当山の開基については詳らかではないが、記録にある限りでは、その名のとおり天正年間に天寧寺五世廣庵芸長（うんちょう）大和尚が開山されたものである。

しかし、本尊聖観世音菩薩は、南北朝様式で開山より二百年程遡るとされ、まだ当山過去帳にも中興貞山松和尚（天文十二年寂）との記録があるので、天正寺の母体となった寺院があったと思われる。

江戸時代に入って、徳川幕府から御朱印六石三斗を付せられ、同村内に末寺十数か寺を要し、裏山の白山神社の別当として、寺容大いに盛んであったが、明治十五年（一八八二）、奇しくも当寺の大般若会の日（三月十七日）に起こった「大久野焼け」と呼ばれる大火のため、本堂を初め諸伽藍、古記録等焼失した物も多いが、一部の寺宝は大般若会に集いし幾多の雲水により、当時境内地にあった山椒魚生息の池に避難させ焼失を逃れた。



天正寺・年間行事

坐禅会

毎月 第1日曜日

写経会

毎月2回目の木曜日

午前10時～12時

大般若会

毎年3月第2土曜日

春秋彼岸供養

お施餓鬼

毎年7月13日

追想の杜合同法要8

月15日

いちよう茶会

12月第1日曜日



平成六年秋、新本堂の落成

宗教法人 曹洞宗 天正寺

190-0181 東京都西多摩郡日の出町大久野2248

Tel: 042-597-0350

Fax: 042-597-5291

平成25年7月 天正寺永代供養設備
追想の杜 が竣工いたしました。